

第 18 回 秋田県優良工事地域振興局長表彰

表彰工事概要

令和 7 年 9 月 18 日（木）

秋田県秋田地域振興局

◆表彰工事概要			
工 事 名	道路メンテナンス工事(トンネル) 05-FI24-A0		
路河川名/地区名	(主)秋田昭和線	施工地名	秋田市新藤田字治郎沢地内(手形トンネル)
商号又は名称	三共販売株式会社	許可番号	05-009734
請 負 額	33,055,000 円	工種・格付	一般土木・B級
代 表 者	代表取締役 我孫子 寛		
監理技術者等	現場代理人 藤原 健正		
監督実施公所	秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	三浦 博満	監 督 員	宮澤 優斗
工 期	令和 6年 9月27日～ 令和 7年 3月28日	完成年月日	令和7年 3月 28日
概 要	1)はく落防止対策工 1式		
特 徴	1) 重交通道路の施工における関係機関との調整 2) 冬期施工の安全対策		
写 真			
 坑口全景  はく落防止対策工 (FRPメッシュ)  はく落防止対策工 (超薄膜スケルトン工法)			

◆監督実施公所の推薦理由
・当該現場は日平均交通量が20,000台を超えており、関係機関との調整や県民への周知を徹底する必要があり、秋田市全戸(河辺、雄和を除く14万世帯)へチラシを配布、迂回看板25箇所の設置、秋田市広報資料への掲載を実施し、苦情発生抑制に努めた。 ・警察より、規制時間(作業時間)を9時30分～15時30分と制限される中、工程管理を徹底し、工期内に遅れることなく完了した。 ・冬期施工の安全対策のため坂道への凍結抑制剤の散布を徹底することで、事故の発生を防いだ。

◆施工業者からのPR
・トンネル内の工事で片道交互通行としたことから、坂道での事故を防止するため、冬期間においては凍結防止に努めた。 ・特に、朝夕の交通量が多くなることから、秋田市内において工事に関するフリーペーパーの配布を行って周知するとともに、手形トンネルに通じる25箇所において迂回看板を設置し、円滑な誘導に努めた。 ・現場の調査結果を鑑み、監督員と協議の上、維持管理が容易な工法に変更するなど、工夫した。

◆工事概要				
工 事 名		河川改修工事 05-KA27-20		
路河川名/地区名		馬踏川	施工地名	秋田市金足堀内
商号又は名称		株式会社田口建設		許可番号 05-003210
請 負 額		33,623,700 円	工 種 ・ 格 付 一般土木 B級	
代 表 者		代表取締役 田口 悟		
監理技術者等		主任技術者 佐々木 翼		
監督実施公所		秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員		小塚 貴紀	監 督 員	沼田 拓務
工 期		令和 6年 3月27日～ 令和 6年12月20日	完成年月日	令和 6年12月20日
概 要		1) 堀内 1 号橋 L=27.9m, W=6.2m 2) 床版工 V=31m3 3) アスファルト舗装工 A=136m2		
特 徴		1) 年度内に新河道への通水が必要となる条件下における、複数の関連工事との同一時期での施工 2) 高温期に打設するコンクリートの品質管理		
写 真				
【着手前】		【完成】		
				

◆監督実施公所の推薦理由
・本工事は、二級河川馬踏川のバイパス化に伴い新設する橋梁の床版工、伸縮装置工、アスファルト舗装工などを施工したものである。 ・年度内に新河道への通水を行うことが条件であったことから、河道掘削を行う関連工事が同時期に動いており、施工方法や施工時期に関して制約が多い中、高度な工程管理を実践し、工期内に完成させたことは評価できる。 ・高温期の床版コンクリート打設であったが、打設時における温度管理やその後の現場養生等、厳密な品質管理を実践したことにより、有害なクラックは発生しておらず、十分な品質が確保されている。

◆施工業者からのPR
・コンクリート打設に当たり、生コン業者との綿密な打合せを実施して徹底した温度管理を行い、品質を確保した。 ・降雨により工事区域内が冠水したため、速やかに排水ポンプを設置し、降雨による影響を最小限に留めて作業環境を確保し、工期に影響が及ばないように努めた。 ・現場に接続する工事車両出入り口及び仮設道路を関連工事の事業者と共有して通行していたため、相互に連携を図り、無事故で工事を完了させた。 ・作業工程や資材搬入計画に当たり、下請け業者との綿密な打合せを実施して、工程の短縮に努めた。

◆工事概要			
工 事 名	県単河川等環境維持修繕工事 05-K586-10		
路河川名/地区名	一級河川 新城川	施工地名	秋田市上新城五十丁字大村屋敷
商号又は名称	株式会社ヨコヤマコーポレーション	許可番号	05-012573
請 負 額	9,835,100 円	工 種 ・ 格 付	一般土木
代 表 者	代表取締役 横山 真司		
監理技術者等	現場代理人 塚原 健次		
監督実施公所	秋田地域振興局建設部		
主任監督員	梅井 靖彦	監 督 員	柏木 榮太
工 期	令和6年 8月 9日 令和 7年 2月 12日	完成年月日	令和 7年 2月 12日
概 要	1)掘削 V=900m ³ 2)伐木除根工 A=500m ²		
特 徴	1)社会条件への対応や地域貢献 2)自然条件への対応		
写 真			
【着手前】  【完成】 			

◆監督実施公所の推薦理由
・当該工事は、河川内の土を撤去する工事である。一番の推薦理由は工事用道路を製作する際の自然条件への対応である。工事用道路に選定した箇所はとても軟弱な地盤であったため、松杭打設や大規模な排水システム（φ900の排水管とフラップゲート）を導入することで、大型車両の通行に耐えうる強固な路盤を構築した。 ・また、同時に、11日間で870m³の土砂を搬出するという厳しい制約もクリアした。掘削箇所においては一般車両と工事車両を分離する迂回路を新設し近隣住民の協力を得ることで、作業効率を大幅に高め遅延なく作業を完了させることができていた。 ・更に、工事期間中は地域の草刈り作業に重機で参加したり、農家からの要望で用水路を清掃・改善したりと、積極的に地域貢献活動を行っていた。こうした活動を通じて、近隣住民との良好な関係を築きあげられたことで地域社会への貢献にもなった。

◆施工業者からのPR
・地盤が軟弱であったため、松杭を打設するなどして補強するとともに、盛土・転圧時には、沈下板を設置して沈下量を測定して現場管理を行い、大型ダンプの通行に備えて強度の確保に努めた。 ・関連する他工事の事業者との調整により、短期間で土砂を搬出する必要があったが、地元のへの協力を仰ぎ、一般車両と工事車両を分離することで作業効率を向上させ、工程に影響することなく搬出を終了することができた。 ・地元の草刈り作業に参加するとともに、地元農家からの相談に応じて用水路の改善を行うなど、地域に貢献することができた。